

老年病センターだより

秋祭り増刊号

今回は、当院の一大イベント「秋祭り」が行われましたので、その報告とその他の情報を2ページにわたってんご盛りでお届けします！

祭りの熱気とパワーが台風をふり払いました！！



写真上：お神輿で練り歩くスタッフ、見学する患者様

中：お囃子ボランティアの演奏に聞き入る患者様とご家族

下：やきそばフーススタッフ、こちらも早々に品切れ状態に

10月26日、第11回 飯能老年病センター秋祭りが開催されました。

台風27号の接近に伴い、雨風の影響が懸念されましたが、多くのご家族様、ボランティアの皆様に来院していただき、賑やかなお祭りとなりました。

今年の出し物は、フルーツあんみつ、餃子スープをはじめとした飲食物の企画や、輪投げ、おみこし、お囃子、お面屋さんといったお祭りらしさを感じられるイベント企画など、こだわりのある企画がそろい、活気ある雰囲気となりました。

お囃子の演技に手を叩いて調子をとる方、(ノンアルコール)ビールの瓶を片手に、笑顔で写真撮影に応じて下さる方など、お祭りの会場に出かけた方は、思い思いに雰囲気を楽しんでいらっしゃるようでした。また、会場には、病院職員の笑顔と張りのある声も溢れていました。職員自身がお祭りを楽しむことで、全体の雰囲気が盛り上がっていく様子も感じられました。

各階では、病院職員で構成された「若獅子会」による獅子舞が披露されました。こちらも、威勢の良いハツラツとした雰囲気が好評だったようです。

今年のお祭りも、患者様をはじめ、ご家族様、お囃子ボランティアの皆様など、多くの方が笑顔で過ごしている様子を感じることが出来ました。お祭りに足を運んで下さった皆様、運営に携わって下さった皆様、

どうもありがとうございました。

(作業療法士 八木正樹)



上：水餃子をを提供するスタッフ、かなり人気で熱々でした♪

(フライパシー保護の為、画像は加工してあります)

南国の風を爽やかに届けました

8月31日に、飯能市を拠点に活動されているフラダンスグループ「モミラニ・フラ・スタジオ」の皆様をお迎えして、フラダンス公演が各階で実施されました。

心地良いハワイアンミュージックとフラダンスにあわせ、会場の皆様も自然と手の動きを真似て、身体を動かしていらっしゃいました。特に、子供達のダンス披露の際にはどなたも眼が釘付けでした！会場は、「おじいちゃん」「おばあちゃん」の優しい笑顔に包まれていました♪

(作業療法士 八木正樹)



写真：フラダンスを見学する患者様、ゆったりなテンポに癒されました。

琴の調べに秋を感じて。。。



写真：横山先生による演奏を堪能する患者様

館内放送にて演奏会の様様が各階へ生中継されました。

9月20日には、8階病棟にて箏演奏会が開催され、箏演奏家の横山裕子様をお迎えし、唱歌やイギリス民謡など、多様な曲を演奏して頂きました。演奏の合間には、お箏の歴史や弾き方など、様々なお箏のお話も聴かせていただくことができました。

一般的なお箏は13絃なのだそうです。今回は20絃箏での演奏も聴くことができました。どちらのお箏も、とても心地良い音色で、演奏をお聴きになった皆様はゆったりとした時間をお過ごしのような様子でした。

作業療法士 八木正樹

インフォメーション

写真下：作品に見入る患者様(プライバシーの都合上、画像は加工されています)

今年も、「秋の文化展」を開催致します！開催期間は、11月3日(日)～11月16日(土)までを予定しています。各階にて創作活動の時間に制作された作品や、職員が趣味活動で制作した作品を展示予定です。今年は何のような作品に出会えるか、とても楽しみです。「芸術の秋」を感じていただける内容かと思っておりますので、お時間のある方はぜひ足をお運び下さい♪

作業療法士 八木正樹



編集後記

2枚に亘る増刊号いかがでしたでしょうか？今年は雨の中の秋祭りとなってしまいました。例年並みの盛り上がりがありました。また、来年どんな祭りになるのかは、乞うご期待です！

相談室長 大瀧